

2013年8月吉日

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会会員各位

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本食品免疫学会第9回学術大会が「ライフステージと食品免疫学 ―乳児期から高齢期まで―」をメインテーマとして、10月17日及び18日の2日間にわたり開催されます。

今年度は、乳児期から高齢期にいたるまでの各ライフステージにおける食品免疫学、すなわち、食品と免疫に関連する最新の研究につき、各分野の先端で研究を進められておられます高名な先生方に分かりやすく解説していただき、理解を深めたいと思っています(シンポジウム3:無料公開)。また、各ライフステージにおける食品の摂食と免疫・健康の関わりについてもお話しいただけるものと考えています。

本年は、特別講演といたしまして、「時間栄養学 免疫・炎症から代謝障害まで」「日本人の生活習慣病の時代的変遷 ―半世紀に及ぶ久山町研究からのメッセージ―」の2題につきまして、早稲田大学の柴田重信教授、九州大学の清原裕教授の両先生に講演をお願いしております。

興味深い最新の研究につきまして、新しいテーマでの学術大会となっておりますので、大会プログラム (http://www.jafi.jp/information/9th_gt.html) をご覧いただき、是非お誘いあわせの上、ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

日時 : 2013年10月17日(木)・18日(金)9時30分より
場所 : 伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1)
メインテーマ : 「ライフステージと食品免疫学 ―乳児期から高齢期まで―」
大会長 : 伊藤裕之(株式会社 明治)

敬具

日本食品免疫学会会長 上野川修一
第9回学術大会大会長 伊藤裕之